

MOROYAMA

The Public Relations Magazine

広報 もろやま

平成25年8月1日号(2013年)

特集

昭和20年の故郷
学童集団疎開と毛呂山町

わだいの特選 (毛呂本郷夏祭りほか)
キラリ輝いてます (漫画家・村上マコトさん)
ぼくらのキャンパス (川角小学校)
もろやま魅力彩発見 (総合公園の花蓮)



8

No.875

越辺川が変わる…
川のまるごと再生プロジェクト 始動!



表紙8「ゆずの里保育園児の花蓮散策 (総合公園)」

昭和20年の故郷

学童集団疎開と毛呂山町



ここに一枚の写真があります。この写真は昭和19年に長栄寺（小田谷）で撮影された写真です。

昭和16年12月8日、日本はアメリカ、イギリスなどを相手に太平洋戦争をはじめました。しかし戦争が進むにつれ、戦局は悪化していき、昭和19年になると、日本本土への空襲も頻繁になるようになりました。東京への空襲が多くなっていたなか、当時の政府は、学童の集団疎開を閣議決定し、地方に親戚などがいる子どもは、「縁故疎開」を、親戚などがいない子どもは、教師に連れられ各地へと「集団疎開」をすることになりました。

毛呂山町でも、長栄寺（小田谷）と高福寺（滝ノ入）に昭和19年8月から昭和21年3月までの間、東京都日本橋区東華国民学校（現中央区立日本橋小学校）の児童が戦禍を避け、疎開してきました。

学童集団疎開

1926年12月26日、元号が昭和と改められました。その当時の日本は、経済恐慌や社会不安が続いており、政党政治に不満をもつ軍部が政治への干渉を強めていっていました。また学校では、明治23年に示された教育勅語の精神を基本理念として教育が進められていました。

昭和12年に日中戦争が勃発すると政府は、国民精神総動員運動を開始しました。戦時体制化が一気に進行したことで、学校における軍事教練の強化が進んでいきました。そして昭和16年に「国民学校令」が發布され、従来の小学校は国民学校に改称されました。

昭和16年に日本は、アメリカ、イギリスに宣戦布告をしました。昭和17年6月以降、戦局は一気に悪化しました。昭和18年には、「東京疎開計画」が決定され、大規模な空襲が現実のものとして捉えられるようになりまし。そして昭和19年には「一

般疎開実施要綱」が閣議決定され、東京都ではこれまでも勧奨してきた学童の縁故疎開を更に進めました。しかし、地方に縁故をもたない学童が多く、縁故疎開は思うようには進みませんでした。そこで「帝都学童集団疎開実施要領」が閣議決定され、東京都区部の国民学校3〜6年生の学童を対象に集団疎開を行うことになりました。

埼玉県では、神田区（現千代田区）、日本橋区・京橋区（現中央区）の学童を受け入れることになり、8月下旬から集団疎開が始まりました。疎開生活は、両親と離れて生活することになった幼い学童にとって辛いものであり、出発の日には、校庭で両親と涙を流して別れを惜しんだ児童もいたそうです。

昭和20年、戦争が終結すると多くの児童が、親元へと帰りましたが、区域の約3分の2が被災した日本橋区は、翌年の3月まで疎開が延長されました。

年号	昭和16年	昭和17年	昭和18年	昭和19年	昭和20年
教育・疎開に関する事項	4・1 国民学校令公布		11 定 「東京疎開計画」決定	3・3 「一般疎開促進要綱」閣議決定 「学童疎開促進要綱」 「帝都学童集団疎開実施要領」閣議決定	3上旬 東華国民学校6年生卒業進学のため疎開先から引き上げる 「学童集団疎開強化要綱」 国民学校初等科を除き学校授業を一年間停止 「戦時教育令」公布 東京都、集団疎開学童に帰校命令
戦局	12・8 太平洋戦争始まる	4・18 アメリカ軍機日本本土初空襲 6・5 ミッドウエー海戦敗北	2・1 ガダルカナル島撤退開始	1・8 「新防空法」実施 6 マリアナ沖海戦敗北 アメリカ軍サイパン島上陸 7 サイパン島陥落 11・24 サイパン島から爆撃機が東京を初空襲	3・10 東京大空襲 3・17 硫黄島日本軍全滅 4・1 アメリカ軍沖繩本島に上陸 6・23 アメリカ軍沖繩本島を占領 8・6 広島に原爆投下 8・9 長崎に原爆投下 8・14 熊谷空襲 8・15 太平洋戦争終わる

実情



②



①



④

①防空訓練 ②戦時教育6年生の武道
③兵隊ごっこ ④女子青年団軍事教練
⑤爆撃機に対してのバケツ消火訓練 ⑥愛国婦人会戦勝祈願
⑦米穀配給統制令下の米の配給



③



⑦



⑥



⑤

戦時中の毛呂山町

昭和12年に国民精神総動員運動が開始されると、戦争に備え、物資・生産・物価・労働など、ありとあらゆる分野にわたって、政府が強制的に統制措置を実施するようになりました。

こうして国民生活に必要な米などの食糧も配給の対象となり、人びとは、切符配給などによって窮屈な厳しい生活を強いられました。同時に食糧のほか軍事用の目的で多くの物が軍需資材として供出されました。また、地方自治体の下部組織として隣組などが結成されました。このころの地方自治体は、中央から委任された仕事は、無条件で行わなければならなかったため、新たな組織が結成されたことで、これまで以上に組織の統制が徹底され、結果、必然的に戦争に協力していく形になったのでした。

戦況の悪化に伴い、町民の生活も困窮していききました。食糧の受給困難が深刻になり、供出割当ても一層厳さを増しました。また、戦地への召集によって労働力は減り、配給も減少してい

くようになってきました。

教育面では、昭和14年4月から青年学校は義務制となり、軍事教育的内容が優先され、入隊即実戦に役立つ訓練が要求されました。小学校は、昭和16年4月から国民学校と改称され、義務教育年限は初等科6年・高等科2年とされました。この地域においても山根尋常小学校は毛呂山国民学校西分教場、毛呂尋常小学校は毛呂山国民学校東分教場へと、また二葉尋常小学校は、川角国民学校へと名前が改められました。教育の方針は、国を背負って立つ小国民育成が主眼でした。

そのような状況下、昭和19年6月、「帝都学童集団疎開実施要領」を受け、東京都では、3、6年生の児童の学童集団疎開の準備が急ぎ進められていました。東京都教育局が行った集団疎開希望児童数調査に基づき、埼玉県には、神田区、日本橋区、京橋区の児童が疎開することになり、毛呂山町には、東京都日本橋区東華国民学校の児童が集団疎開してきました。

疎開児童の受け入れ



長栄寺 (小田谷)

集団疎開を受け入れたのは、先代の住職のころでした。先代自身も私に当時のことをあまり話さなかったので、多くのことは分かりませんが、疎開当初は風呂など施設が整っていませんでしたので、シラミなどが発生してたいへんだつたと聞いています。また、食事の支度などは地元の人々の協力をいただき、まかっていたそうです。

このような弱者が犠牲になることが二度とおこらない世の中になつてほしいと思います。

(長栄寺 曾根脩一さん)



長栄寺での両親との面会日の写真 (昭和19年)

毛呂山町には、東華国民学校の児童155人が疎開してきました。そのうち長栄寺には、4年生の男女と6年生の男子100人、高福寺には、6年生の女子55人が疎開してきました。東華国民学校の児童は、そのほかにも大塚村(現坂戸市)の水源寺に5年生と6年生の男子約55人、越生町の越生館に3年生の男女と5年生の女子約80人が疎開しました。

昭和19年8月、親元から離れ、見知らぬ土地で暮らすという、子どもたちの不安な疎開生活が始まりました。しかし、当時の埼玉県知事が、空襲時における



高福寺 (滝ノ入)

当時、私はまだ幼かったので、集団疎開の意味も知らなかったのですが、気付いたら一緒に住んでいたという感じでした。

疎開した人のために作った炊事場が庫裡の横にあり、戦後もしばらくの間は残っていました。数年後不要になり、取り壊されたのですが、子ども心にも「さみしさ」を感じたものでした。

また数年後、当時の児童が何人か訪ねてきましたが、私のことを覚えていてくれて、嬉しく思いました。

(高福寺 萩原紀子さん)



高福寺での初めての面会日の写真 (昭和19年9月)

県下寺院の積極的協力などを表明していたこともあって、寺院関係者の集団疎開への対応は全体として好意的でした。また、他県よりも寺院での児童受け入れが多く、大部分が農村地帯であったこともあり、疎開児童たちにとって最も切実な問題であった食糧の面は、比較的恵まれていたといわれています。疎開児童に対する地元協力のぶりも概ね良好であったようでした。

毛呂山町でも長栄寺・高福寺関係者および近所の人たちが、食事のまかないや食糧の差し入れなど、さまざまな支援をしていました。

証言

疎開児童の生活

当初、疎開に行くことを、遠足に行くように感じていた子どもも少なくなかったようですが、戦時下であったため、送り出す親たちにとっては苦渋の決断でした。子どもの生活の不安だけでなく、場合によっては生き別れになってしまうのではないかと不安でいっぱいだったそうです。また、子どもたちも未知の土地に行く不安があったように、なかには戦地に赴くような心もちで疎開先に向った子どももいたようです。

子どもたちは、食事や勉強など生活の大部分を疎開先の寺などで過ごしました。埼玉県では、疎開地の教育の場は都立国民学校の分教場と位置づけられたため、地元の学校に通学する子どもは少なかったようです。

毛呂山町においても疎開していた東華国民学校の児童は同様に、生活の場はそれぞれのお寺

毛呂山町の人には

本当にお世話になりました

やまなともこ
山名朋子さん

(神奈川県川崎市在住)

私が集団疎開で毛呂山の地を踏んだのは、昭和19年8月でした。当時は、背が高く1班で班長をしていました。疎開生活は、私個人としては、楽しく過ごせ

たと思います。先生の工夫や近所の人の協力のおかげで、食糧も当時としてはよかったと思います。少なくとも終戦直後の何もない時代よりましでした。お寺の近所の人には、食事やお風呂といった生活の面だけでなく、農業の手伝いをさせてもらうな



稲刈りの手伝い第1班
(2列目右から3番目が山名さん)

ど貴重な経験をさせてもらいました。高福寺の田んぼで稲刈りをしたり、裏山で栗拾いをしたことは、楽しい思い出の一つとして今も覚えていきます。

「タマ吉通信」は父が、

私と長栄寺に疎開していた妹に宛てた手紙です。当時は、学童と親との手紙の行き来は厳しく検閲され、辛いとか寂しいなどという感傷的な言葉は好ましくないとされていました。そんな

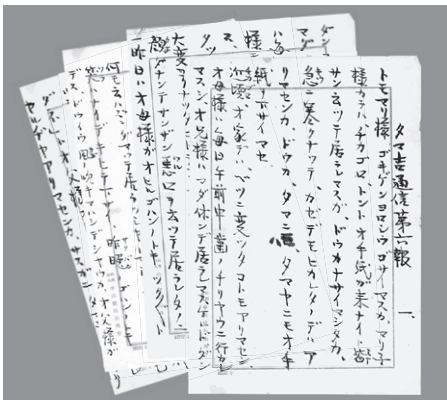
なか父は、家で飼っていた猫の言葉を借りて、父の心情や私たちへの気遣いを言葉にして手紙を送ってくれたのです。父は弁護士をしていたので、文章を書くのが得意でした。そのために機転が利いたのではないかと、今では感じています。この手紙は、戦禍のなか、ランドセルの中に大切にしまっていました。

翌年の3月1日、高等女学校の受験のため帰京したのですが、帰京後わずか10日あまりで、東京大空襲に遭い家は全焼してしまいました。その後、叔父の家に家族全員で逃れましたが、程



山名朋子さん
(昭和19年8月下旬から昭和20年3月初旬まで高福寺で集団疎開を経験)

なくして叔父の家も空襲で焼け出されてしまったため、母の実家のある盛岡市に疎開しました。その後は、戦後の苦しい時代を乗り越え、今にいたります。思えば、毛呂山町の人には本当にお世話になりました。食糧難の辛い時代ではありましたが、嫌な思いもせずにご過ごすことができました。



「タマ吉通信第六報」(原本の写し)



高等女学校受験のため高福寺を後にする児童
(昭和20年2月ごろ)

であり、ごく稀まれに地元の学校を借りて授業や運動した程度であったようです。また、食事の面に関しては、疎開してきた子どもたちにも自由にさせないようにと、近所の農家の人たちから野菜などの差し入れもあったようで、それほど不自由はしなかったようです。

なかには、ホームシックにかかり、涙を流していた子どももいたようですが、毛呂山町に疎開してきた子どもたちは、概ね辛い思いをせずに疎開生活を送っていたと言われています。

毛呂山町は 私にとって 第二の故郷です

稲葉喜久子さん

(東京都東久留米市在住)

当初私は、神奈川県にある母の実家に縁故疎開をするつもりでした。しかし友だちの多くが集団疎開すると聞いて、毛呂山町に集団疎開することを決めました。

電車で揺られて八高線の毛呂駅で降りると、石がごろごろとした道。東京日本橋で育った私は、「これはすごい田舎いなかに来てしまった」と思いました。でも私は、疎開の生活が楽しくてしかたがありませんでした。夏の夜のお化け大会や畦道あぜみちでの鬼ごっこ、父



稲葉喜久子さん

(昭和19年8月下旬から昭和20年3月初旬まで高福寺で集団疎開を経験)

九一さんのことを親しみをこめてクイさんと呼んでいました。クイさんは、よくお寺の玄関を入ったところに腰をおろし、私たちに優しく「腹、すかなか」と微笑みかけてくれました。私たちには、それがとても嬉しく感じたものです。



稲刈りの手伝い第4班
(2列目左から4番目が稲葉さん)

毛呂山町で楽しく疎開生活をおくらせてもらいましたが、3月1日に帰京が決まると、やはり家族に会えること、また家族と暮らせることを思うと、とても嬉しかったものです。しかし帰京して間もなく東京はB29の大空襲に遭い、私たちの学校の近くも壊滅的な被害を被こうむりました。幸い私の家は、焼かれずに残ったのですが、その後は母の実家に疎開して過ごすことになりました。

私は、常日ごろから「私には故郷が2つあります」と言っています。1つは私が生まれた日本橋人形町。そしてもう1つが私が健康に育つことのできた毛呂山町です。私たちのためにご尽力いただいた毛呂山町の人には、感謝の気持ちでいっぱいです。今を思えば、私は本当に毛呂山町に疎開をしてよかったと思っています。



「このひらの記憶」稲葉喜久子/文 東本つね/絵
(株)草土文化/発行

※「このひらの記憶」は稲葉さんが戦時中の体験を著した絵本です。

毛呂山町での生活は、

その後の人生に大きな影響を与えました

南部敏明さん
なんぶとしあき

(埼玉県寄居町在住)



当時、疎開児童が使用していた机（長栄寺蔵）

私が初めて疎開生活を行ったのは、小学3年生に進級する直前の昭和20年3月でした。それは東京大空襲から10日以上経った後でした。当時、私の家は杉並区にあったため直接の空襲被害はなかったのですが、疎開す



学童集団疎開の日記（南部敏明さん蔵）

ることが決まり、親と離れ、ひとりで転校することに、何ともいえぬ不安を感じました。初めての疎開先は、長栄寺でした。それからおよそ10日後に大家村（現坂戸市）の永源寺に移りました。永源寺では、食糧が少なかつたことや、私自身幼かつたこともあって、辛かつた記憶しかありません。その後病

気で入院している時に終戦を向かえました。終戦後は、長栄寺、そして高福寺で昭和21年3月まで疎開生活をおくりました。

昭和21年4月から毛呂山国民学校（現毛呂山小学校）に通学し、毛呂山中学校1年生まで毛呂山町で暮らしました。

戦争が終わったことや親と一緒に暮らせることもあり、毛呂山町での生活は、疎開をしていたころも含め、とても楽しい日々を過ごしました。

友だちと山に遊びに行ったり、川に魚を獲りに行ったりしました。また流鏝馬や川角の獅子舞を見に行ったりもしました。



南部敏明さん
(昭和20年3月から昭和21年3月まで永源寺と長栄寺、高福寺で疎開生活を経験)

疎開をしているときは、それほど地元の人との交流はなかったのですが、実際に暮らすことをとおし、毛呂山町で自然を愛する気持ちを養うことができたと思います。そのことは、その後の私の人生に大きく影響を与えました。

今でも、私にとって毛呂山町は、「故郷」と呼べる場所です。

伝わっているのか

毛呂山町において、長栄寺と高福寺に疎開していた児童は、多くの人の協力もあって、比較的健やかな生活をおくっていました。当時、子どもたちの生活などを主に見ていたのは、引率の教師のほか、東京から付いて

いった寮母と呼ばれる人でした。しかしこれらの人だけでは人手が足りず、毛呂山町からも手伝いに行っていた人がいました。

疎開先の住職並びにそのご家族。そして、隣組長など近所の人。そのほかにも炊事などを手伝う地元動員の寮母もいました。

疎開していた子どもたちが、

今でも「お世話になった」と口を揃えて話す毛呂山町の人とは、どのような人であったのでしょうか。

ここでは、疎開していた子どもたちの世話をしていた地元毛呂山町の人たちのご家族に、当時の様子や内容がどこまで伝わっているかお話を伺いました。

検証





昭和45、46年ごろの長栄寺の遠景（松田太郎さん提供）

坂下ヨシ子さん（故人）

坂下ヨシ子さんは、長栄寺で疎開児童のために食糧の買い出しから、朝・昼・晩の食事の支度をしていました。

「実家が長栄寺の近所にあつたため、お寺で何か行事があると両親がお手伝いをしていた記憶があります。その関係で母は、疎開児童が来ていた時に、炊事のお手伝いをしていたのではないでしょうか。母は、昔のことをよく知っていて、料理がとてもし上手な人でした。」

話 坂下 均さん（小田谷）
（坂下ヨシ子さんの子）

高橋きみさん（故人）

高橋きみさんは、昭和19年8月末から10月半ばまで高福寺において、泊り込みで主に炊事の手伝いに行っていました。

「妻は、人に対して優しく、常に平等で面倒見のいい人でした。戦後になって、疎開していた人が何人か訪ねてきたことを今も覚えています。曲がったことがとにかく大嫌いで、私もよく叱られました。とにかく私にとつては、よくできた妻でした。」

話 高橋 寛二さん（毛呂本郷）
（高橋きみさんの夫）

岩上九一さん（故人）

岩上九一さんは、当時隣組長をしていたことに加え、自宅と高福寺が近かったことなどから、疎開児童たちの面倒を率先して見ていました。

「九一は、私の祖父になります。小柄な人で、農業を行っていたため、よく日焼けしていました。性格は、真面目で忍耐強く、いつもニコニコしている優しい祖父でした。私には、叱られた記憶がないぐらいです。疎開してきた人からもクイさん、クイさんと親しまれていたようです。」

祖父は、自分のことより、人のことを気にする人でした。冬場などの農閑期には、ちよつとしたアルバイトをして、私や妹に洋服を買ってくれたり、映画を見に連れて行ってくれたりしました。

そういった性格のため、隣組長として子どもたちの世話に對し、責任を感じていたのではないかと思います。しかしながら、本人にとつては、子どもたちと餅つきをしたり、話をしたりしていること自体を楽しんでしていたと聞いています。

平成13年に初めて、疎開していた人たちが、私の家を訪ねて



写真中央が岩上九一さん



岩上千恵子さん（滝ノ入）
（岩上九一さんの孫）

くれました。その時すでに祖父は亡くなっていたのですが、疎開をしていた皆さんから「今があるのは、クイさんがいてくれたおかげです。ひもじい思いをせずに済みました。本当に感謝をしています」と言われ、またある人からは「クイさんが生きていたときにお礼が言いたかった」と涙ながらに言われた時には、祖父の生きた証が鮮明に蘇り、本当に感激しました。

私は、心から岩上九一の孫として生まれたことを誇りに思っています。」

継承



日本橋小学校（東華小学校（国民学校）が統廃合され、日本橋小学校となる。現校舎はその後建て替えられた。）

人と人との助け合い

戦時下という、辛い時代背景のもと、空襲から逃れるために住み慣れた家を後にして、見知らぬ地に疎開してきた子どもたちは、不安を抱え、毛呂山の地に足を踏み入れました。その毛呂山町で出会ったのは、温かく迎えてくれた宿泊先のお寺の人や地元の人でした。

当時、食糧は非農家については、配給制であり、一人当たりの米や砂糖、マツチの本数まで決められていました。また、農家は供出きょうしゅつといって農家の生産量の一定量を国に納めなければなりませんでした。農家といえども食糧に十分な余裕があるわけでもなく、また、労働力も不足していた時代でした。

疎開児童に対しても配給はありませんでしたが、食糧が不足しており、決して満足できる量ではなかったといわれています。しかし、地元の人たちは、限られた食糧のなかから、疎開児童たちの食べる分を捻出ねんしゅつして、少しでも子どもたちがひもじい思いをしないようにと、サツマイモなどの差し入れをしてくれました。苦しい時代だからこそ助け合いがそこにあったのでしょう。

次代へ受け継ぐこと

東京都の学童集団疎開は、関東地方のほか東北や中部、北陸など15都県に約20万人規模で行われました。埼玉県にも約1万人が疎開してきました。埼玉県の特徴としては、寺院がその宿泊先として、多くあてられたことでした。受け入れ先は、農村部に多く、食糧事情がある程度恵まれていたことや、家族の住む東京都から近いという理由により、疎開してきた児童は、全国的に見れば比較的良好な生活をしてきたようです。

埼玉県では、現在にいたるまで疎開体験者と地元の人たちとの交流が続いている例が、複数あると聞きます。毛呂山町でも、疎開体験者が疎開時にお世話になったお寺やお宅を訪問する事例を聞いています。これは、疎開児童に対しての受け入れ側の厚い善意きんいんに起因しているものと考えられます。

苦しいときにこそ助け合うという精神は、いつの時代にも存在します。平成23年3月に発生した東日本大震災において、現在も被災地では、皆で助け合いながら、復興へ向けて頑張っています。また、埼玉県において

も旧騎西高校へと避難していた福島県双葉町の住民と県民やボランティアとの協力などがあげられます。

過去の事象は、過去だけのものではなく、現在にもあてはまることが多いものです。このような事象を現代へ、そして未来へと繋いでいくのも埼玉県平和資料館の務めであると考えます。

当館では、過去の資料の発掘と保存、未来に対してのメッセージの発信を行っています。今後、戦争の悲惨さと平和の尊さをもっと多くの人へ、そして特に若い世代へ発信することで、このような歴史を次代へ着実に受け継いでいきたいと考えています。

※埼玉県平和資料館は、10月中旬のリニューアルオープンまで、現在休館中です。



埼玉県平和資料館 石坂俊郎主幹

戦争という辛く苦しい時代がありました。家や家族を守るために人びとは助け合い、励まし合い生きてきました。

戦時中、毛呂山町に東京都の子どもたちが疎開していたことは、あまり知られていません。子どもたちは、もしかしたら二度と会うことができなかつたかもしれない状況下で、親元から離れ、戦禍を避けて毛呂山町で生活をしていました。

そのようななか、毛呂山町の人たちは、見ず知らずの子どもでもあるにもかかわらず、献身的に疎開児童たちの成長を見守ってきました。

太平洋戦争末期から終戦後にかけての数年は、我が国において、激動の年でした。昭和20年は、疎開してきた子どもたちにとっても激動の年であったに違いありません。それでも子どもたちの中には、短い疎開生活のなかにも、毛呂山町に「故郷」を感じていた子もいました。それはほかならぬ毛呂山町の人たちの温かい心に触れることができたからではないでしょうか。

過去、私たちの町にも苦しいときに支え合い、助け合って生きてきた時代がありました。しかし、先人たちが残してくれた記憶は決して過去だけのものではないのです。今を、そして未来を生きる人たちにとっても、それは貴重な記憶なのです。

【参考資料】『てのひらの記憶』稲葉喜久子・文 東本つね・絵、『私の学童集団疎開』南部敏明、『あゆみ創立70周年記念誌』中央区東華小学校、『東華開校六十五周年記念誌』創立六十五周年記念誌委員会、『中央区平和記念誌永遠の平和を願って』中央区地域振興部コミュニティ振興課、『中央区教育百年のあゆみ』東京都中央区教育委員会、『特別企画展学舎の子どもたち』埼玉県平和資料館、『毛呂山町史』毛呂山町、『新毛呂山町史』毛呂山町、『あの日、あの時をふりかえって』毛呂山町歴史民俗資料館

【協力】東京都中央区京橋図書館、東京都中央区日本橋小学校

特集

昭和20年の故郷

学童集団疎開と毛呂山町 (終)

祭 『毛呂本郷夏祭り』
 ばやしにぎ
 囃子も賑やかに



7月13日(土)・14日(日)、『毛呂本郷夏祭り』が行われ、掛け声とお囃子の音色を響かせながら、2台の山車(だし)が巡行しました。今年はJR毛呂駅前でゆずの里商店街の七夕まつりも行われ、子どもから大人まで、多くの人がお祭りを楽しみました。

花 ゆずの里保育園『花蓮散策』
 蓮の根元には…?

7月8日、ゆずの里保育園の子どもたちが七夕飾りを持って総合公園へ花蓮の見学に行きました。花蓮や、その根元を泳ぐメダカやオタマジャクシに大興奮でした。



泥 泉野小5年生の『田植え』
 んこになりながら…



6月21日、泉野小学校の『田植え』が行われました。田植えの後は恒例のリレーと綱引き。子どもたちは、泥まみれになりながら笑顔を見せていました。

ど 『わくわくどきどきまちたんけん』
 んな発見あったかな

6月26日に、毛呂山小学校の2年生86人が15班に分かれ、町内12か所の公共施設などを探検しました。

中央公民館を訪れた班では、職員の説明を聞いた後、公民館に飾られていた七夕飾りに、思い思いに願い事を書いた短冊を結びました。



今 『菊苗配布』
 年も植えよう町の花



6月13日、役場玄関前にて毛呂山菊花会などが主催する菊苗配布が行われました。あいにくの雨でしたが、開始前から列ができるほどの賑わいでした。



みんなに伝えたい！ 漫画って本当に楽しい

熱い想いがファンタジーの世界へいざなう

村上 マコトさん（阿諏訪）

■漫画家としてデビュー

マンガ（MANGA）といえば、日本がいまや世界に発信するクールジャパンのひとつ。しかし、この世界で活躍できる人は少ない。将来の夢として漫画家を志す人は多いが、いつしかかなわぬ夢として、心の奥にしまわれてしまう。そんな夢を掘り起こし、マンガの世界でさらに羽ばたこうとしている人がいる。25歳で漫画家としてデビューを果たした村上マコトさん。連載中の漫画は全国の書店、「コンビニ」に単行本が並ぶ。その作風は、少年誌ではポピュラーな俗にいう「ヤンキー漫画」。女性とは思えない独特の世界観をもつ。

■きっかけは一冊の「ミック本」

彼女は、子どものころからの夢をかなえた訳ではない。「子どものころ少年マンガが好きで、よく読んでいました。漫画家になろうとは思っていませんでした。専門学校を卒業後、接客がしたくてアパレル関係の会社に就職しました」と漫画家

Makoto
Murakami
Manga-artist



代表作「ヤンキークエスト」は青年コミック誌で絶賛連載中。単行本は、日本文芸社から1～3巻が発売中で、今秋には第4巻が発売予定である。ヤンキーがファンタジーの世界に飛び込む奇抜なストーリーが読者を引きつけてはなさない。

としての勉強は一切していなかったと話す。会社勤めをしているとき、ふと手にしたある一冊の漫画との出会いが、人生の大きな転機になったという。「何気なく読んだ漫画の内容に衝撃を受けました。心の奥に仕舞っていた何かが弾けた瞬間でした。どうしても、漫画を描きたくなったのです」。直ぐに退職を決意、迷いはなかったという。

「何の知識もなく、いきなり作品を出版社に持ち込んだら、ケン力を売っているのかと一蹴されてしまいました」。漫画のノウハウをまったく知らず勢いだけだったと当時を振り返る。「ちゃんと勉強しないと通用しないと実感しました。編集者のアドバイスで、どうにかアシスタントをしながら、技術を磨くことができました」。そのときについた先生から多くの技術を学び、今でも師と仰ぐ。

■漫画こそ大好きなおもちゃ

アシスタントの仕事をしなが

下積みをして2年、ある出版社から声がかかり、念願の単行本を発行。「変わったストーリーだったので、編集者の目に留まったのだと思います。なかなか売れない時期だったのでラッキーでした」とあつげらんと話す村上さんだが、そこには相当な努力があったに違いない。

少女のような笑顔の奥に、なぜ男性的な力強い作品が描けるのか。それは、小さいころ男の子たちと自然豊かな毛呂山の野山を駆け巡った体験が、いまでも宝物だからと話す。「何しろ漫画を描くことが楽しくてしかたがないです。大好きなおもちゃを手に入れたようなものですから」と満面の笑顔で答えてくれた村上さん。

今の夢は、作品がアニメ化され、たくさんの人に観てもらえることだと話す村上さんだが、これからも、自然豊かな毛呂山にずっと住んでいたいと語ってくれた。いつしか郷土を代表する漫画家として名を馳せてほしい。



漫画家

Manga-artist

本名：上村真寿美さん
調理師の専門学校を卒業後、アパレル関係の会社に就職。4年後、漫画の世界へ転進。25歳で漫画家としてデビューを果たす。

INFORMATION インフォメーション

毛呂山町役場

☎ (295) 2112

FAX (295) 0771

公共施設電話案内

■図書館	☎ (295)1015
■中央公民館	☎ (294)1250
■東公民館	☎ (295)2277
■歴史民俗資料館	☎ (295)8282 FAX (295)8297
■総合公園体育館	☎ (294)7179
■ウイズもろやま、社会福祉協議会	☎ (295)3111 FAX (295)7258
■保健センター	☎ (294)5511

日……日 時	場……場 所
定……定 員	対……対 象 者
料……料 金・費 用	
申……申 込 み	問……問 合 せ 先
☎……電 話 番 号	FAX……フ ァ ク ス 番 号
E……電 子 メール ア ド レ ス	
HP……ホ ー ム ペ ー ジ ア ド レ ス	

電子申請用QRコード



毎月末の日曜日は納税相談・
納入窓口を開設しています

税金

休日納税相談窓口 8月25日(日)
午前9時～午後3時
場・問 税務課納税係 ☎内線193・194

介護保険料

・後期高齢者医療保険料

休日納入窓口 8月25日(日)
午前9時～午後3時

内容 保険料の納入、口座振替の申込み
(通帳と銀行届出印が必要)、納入相談

場・問 高齢者支援課保険係
☎内線158・159

お知らせ

水道メーター（量水器） 定期交換

水道メーターの有効期間満了に伴い、町指定水道工事業業者が、メーターの定期交換を行いますので、ご協力をお願いいたします（交換費用は、無料です）。

交換期間 9月1日(日)～9月

15日(日)・10月1日(火)～10月

15日(火)・11月1日(金)～11月

15日(金)・12月1日(日)～12月

15日(日)

対象地区 水道検針票のお客

様番号(例0111-00

0000)の上4桁の数字

が、0117「阿諏訪」、

0301～0306「第二
団地」、0635「毛呂山
台」、0836「日生団地」

地区です。これ以外の地区
で、有効期間が満了するメ
ーターについても、定期交
換を行います。対象者には、
後日お知らせのハギを送付
しますのでご確認ください。

問 役場水道課業務係 ☎内線
161

毛呂山町園芸特産振興協議会 「かぼちゃと新鮮野菜の朝市」

無農薬で育てたかぼちゃを
販売します。当日は、新鮮野
菜の販売も行いますので、せ
ひお越しください。

日 8月10日(土)午前9時～正
午

場 役場前駐車場、長瀬駅前

広場

問 役場産業振興課農林係 ☎
内線172

高齢者実態調査のため の訪問について

毛呂山町地域包括支援セン
ターでは、地域で暮らす高
齢者が安心して生活できるよ
うに70歳以上の高齢者世帯や単
身高齢者のご家庭を年1回訪
問しています。家庭訪問では
色んなサービスや制度につ
いてのご相談に対応します。
町から委託された次の3事業
所が、訪問・相談を行ってい
ますので、ご理解とご協力を
お願いします。

○地域包括支援センター悠久
園支所(特別養護老人ホー
ム悠久園内) ☎295-2

000

○地域包括支援センター薫風
園支所(老人保健施設薫風
園内) ☎276-2082

○地域包括支援センターな
なふく苑支所(特別養護老人
ホームななふく苑内) ☎2
76-5315

問 役場高齢者支援課高齢者
福祉係 ☎内線118

「ウイズもろやま」 臨時休館

ウイズもろやまでは、館内
消毒のため次のとおり臨時休
館となります。あわせて、社
会福祉協議会もお休みになり
ます。

休館日 9月15日(日)～16日(祝)

問 ウイズもろやま ☎295
-3111

『旭台保育園』園庭開放

園庭を開放します。ぜひ遊びにきてください。

日 9月2日(月)午前10時～11時
場 旭台保育園

内容 園庭での自由遊び(雨天時はホールで遊びます)

未就園児の親子

問 旭台保育園 ☎ 294-0857

献血にご協力を

日 8月26日(月)午前9時30分～正午

場 役場駐車場

持ち物 身分証明書

問 保健センター ☎ 294-5511

東日本大震災ボランティアによる写真展

震災復興の今を知る機会として写真展を行います。実際の現地に赴いてのボランティア活動をとおして撮影した写真を展示します。震災直後の状態と片付けが進んでいる場所、そして未だ震災直後のままの場所の生の写真をご覧ください。

期間 8月20日(火)まで
場 図書館2階フロア

問 図書館 ☎ 295-1015

中学生による絵画作品展

町立中学校の生徒が描いた力作を展示します。

期間 8月31日(土)まで

場 図書館2階読書室
問 図書館 ☎ 295-1015

大人の映画会

大人向けの映画会を行います。

『家で死ぬとどうよ』

日 8月11日(日)午後2時～

『冬構え』

日 8月25日(日)午後2時～

場 図書館2階視聴覚室

問 図書館 ☎ 295-1015

健康づくり教室

若々しさを維持しましょう

年齢とともに身体の機能は衰えます。機能低下を予防するには毎日の運動がよいとされています。ぜひこの教室に参加して、専門の指導員による運動方法を身につけてみませんか。

問 65歳以上で医師より運動制限の指示のない人

内容 専門の指導員による筋力トレーニング(ストレッチ)

子や有酸素運動、バランス

訓練などの軽体操)

○中央公民館グループ

日 9月6日(金)から11月22日

(金)までの毎週金曜日(全12回) 午後1時30分～3時30分

○大類館グループ

日 9月17日(火)から12月3日

(火)までの毎週火曜日(全12回) 午後1時30分～3時30分

定 各グループ先着30人(参加したことがない人が優先となります)

申・問 8月12日(月)から高齢者支援課高齢者福祉係 ☎ 内線118,156,157で受付

8月30日から『特別警戒』の発表を開始します

気象庁はこれまで、大雨や津波などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていました。より甚だしい大雨や大きな津波などが予想され、重大な災害による危険性が高まっていることをお知らせし、特別な警戒を呼び掛けるために、新たに『特別警戒』を発表します。特別警戒の対象とする現象は「東日本大震災」、「伊勢湾台風」の高潮、紀伊半島に甚大な被害をもた

らした「平成23年台風第12号」の豪雨などが該当します。特別警戒が出た場合、屋外の状況や、避難指示・勧告などに留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

また、大雨などの被害を防ぐには、時間を追って発表される注意報、警報やそのほかの気象情報を活用して、早め早めの行動をとることがあなたや家族の命を守ります。

特別警戒の詳細は、気象庁ホームページ(HP) <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keino/index.html> でご確認ください。

問 気象庁熊谷地方気象台防災業務課 ☎ 048-521-5858

毛呂山町体育賞推薦に ついて

毛呂山町体育賞推薦者の提出期限が8月31日(土)までとなっています。対象期間は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの実績です。詳しくは、体育協会事務局までお問い合わせください。

問 毛呂山町体育協会事務局 ☎ 298-5555

募集
します

レセプト点検・整理を行う臨時職員募集

国保年金係では、レセプト（診療報酬明細書）の点検および整理を行うための臨時職員を募集します。

レセプト点検は、資格の確認、重複請求、受給の有無のほか、算定誤りなどについても点検し、適正に補正し処理することにより、国民健康保険財政の健全化を図るものです。

募集人数 1人

応募資格 医療事務の資格を有し、概ね20歳から60歳までの人で、医療事務に関して意欲のある健康な人

勤務日時 月～金曜日（週20時間程度）

勤務場所 役場住民課国保年金係

賃金 時給820円

採用時期 10月1日（火）から

応募方法 8月26日（月）から9月11日（水）までに、履歴書（写真貼付）を住民課国保年金係へ提出してください。

☎ 役場住民課国保年金係

内線126

学校給食センター臨時職員募集

勤務内容 ①配送助手兼調理員 ②調理員

募集人数 若干名

勤務日時 ①月～金曜日（午前8時30分～午後5時15分、ただし、週38時間45分以内）②月～金曜日（午前8時45分～午後3時30分、ただし、週28時間45分以内）

勤務場所 学校給食センター（毛呂山町目白台4丁目3番地）

賃金 ①時給850円 ②時給800円

勤務期間 9月～平成26年3月

応募方法 8月16日（金）午後3時までに履歴書（写真貼付）を学校給食センターに提出してください。

☎ 学校給食センター ☎294-2242

学童バス運転手臨時職員募集

職務内容 毛呂山小学校児童の送迎

募集人数 若干名

応募資格 普通自動車免許所

有者（面接時免許証を持参のこと）

勤務日数 月～金曜日（採用人数によって変わります）

が、週3日または4日程度）

勤務時間 午前7時～8時・午後2時30分～4時30分

※学校行事などにより運行時間が変更となる場合があります。

賃金 時給900円

採用期間 10月1日（火）～平成26年3月31日（月）

選考方法 面接を実施し選考します。

応募方法 8月20日（火）までに履歴書（写真貼付）を教育委員会教育総務課へ提出してください。

☎ 教育委員会教育総務課 事務係 ☎内線510・511

地域包括支援センター臨時職員募集

勤務内容 高齢者の訪問、相談業務など

募集人数 1人

応募資格 正看護師・介護支援専門員いずれかの資格を持ち、普通運転免許を有する人

勤務時間 月～金曜日（午前8時30分～午後5時15分）

採用期間 9月24日（火）～平成26年3月31日（月）

賃金 時給1400円

応募方法 8月20日（火）までに履歴書（写真貼付）および資格の証明となるもの（写し）を地域包括支援センターに提出してください。

☎ 役場高齢者支援課高齢者福祉係 ☎内線118

「地球温暖化対策講座」受講者募集

埼玉県では、今後地域における地球温暖化対策に関する活動ボランティアを募集する予定です。そこで、町では、地球温暖化対策の理解を深めていただくため、講座を開催します。地球温暖化対策に興味のある人、一緒に考えましょう。

☎ 8月21日（水）午後1時30分～3時30分・31日（土）午前10時～正午・9月14日（土）午前10時～正午

☎ 東公民館視聴覚室

講座 ①地球温暖化の現状 ②クイズで知る温暖化対策 ③埼玉県地球温暖化防止活動推進員の活動状況

☎ 役場生活環境課環境係 ☎内線211

学校教育 学生支援員募集

教職員などを目指している人、学校教育を支援してみませんか！ 若干ですが謝礼が出ます。

募集人数 若干名

応募資格 現在大学、短期大

学在学中または卒業した満30歳までの人

支援場所 町立小・中学校

採用期間 特に指定はありません。本人と学校などで調整して決定します。

毛呂山鎌北湖マラソンのぼり旗協賛のお願い

〒・☎ 毛呂山鎌北湖マラソン実行委員会事務局
(教育委員会スポーツ振興課内)
☎ (294)7101 FAX (294)7106

毛呂山鎌北湖マラソンでは、のぼり旗の作成にあたり、以下のとおり協賛金を募集します。

申込単位 1口3本/1万円

募集本数 90本 (定数に達し次第締切)

掲示方法 のぼり旗に協賛者企業名を入れて作成します。

※大会期間中、2本を会場周辺に掲示し、1本は協賛者企業の敷地などに掲示していただきます。

申込み 申込書に必要事項をご記入のうえ、問い合わせ先へ提出してください。

申込期間 8月23日(金)まで

のぼり旗図案→
150cm×45cm
(竿通し紐付き)
※実際の色はホームページなどで確認してください。



埼玉県警察官採用試験

応募方法 履歴書を教育委員会学校教育課に提出してください(随時受付)。
選考方法 面接を実施し選考します。
☎ 教育委員会学校教育課
内線530・532

試験区分・人数 ①I類(男性80人・女性18人)、②II類(男性20人・女性5人)、③III類(男性100人・女性15人)、④武道・体育指導I類(柔道1人・剣道1人)

受験資格

①昭和58年4月2日以降生まれで、大学を卒業(見込み)の人、②昭和58年4月2日～平成6年4月1日生まれで、短大・専修学校などを卒業(見込み)の人または大学に2年以上在学し、62単位以上取得(見込み)の人(※I類該当者を除く)、③昭和58年4月2日～平成8年4月1日生まれで、I類・II類に該当しない人、④I類の受験資格があり、卓越した柔道または剣道の技術を有する、

いずれも段位が4段以上(大学卒業見込みの人に限り3段を含む)の人

1次試験日 9月22日(日)

受付期間 8月23日(金)まで

に、持参または郵送(期間内消印有効)、インターネットによる受付は8月22日(木)午後5時まで

〒・☎ 西入間警察署 ☎ 28

4-0110、HP <http://www.police.pref.saitama.jp/kenei/saiyo/>または埼玉県警察採用センター採用フリーダイヤル ☎ 0120-373514

自衛官採用試験

募集種目 ①一般曹候補生

②自衛官候補生(男子)

③自衛官候補生(女子)

④航空学生

応募資格 ①②③18歳以上27歳未満の人、④高等学校卒業(見込み含む)で、21歳未満の人(応募の年齢は平成26年4月1日現在です)

試験期日 ①一次/9月16日(祝)・17日(火)のうち指定する1日、二次/10月5日(出)・11日(金)のうち指定する1日

②受付時にお知らせします

③9月22日(日)～26日(木)のうち指定する1日、④一次/9月21日(出)、二次/10月12日(出)・17日(木)のうち指定する1日、三次/11月9日(出)・12月12日(木)のうち指定する1日

受付期間 9月6日(金)まで

【採用説明会】

☎ 8月11日(日)午後1時30分～4時30分

☎ 市菅原町23-10

内容 現役自衛官による説明

〒・☎ 自衛隊入間地域事務所 ☎ 04-26923-4691

身体障害者を対象とした 埼玉県職員採用選考

職種・募集人数 一般事務8人
主な受験資格 県内在住の昭和58年4月2日～平成8年4月1日生まれの人で、身体障害者手帳(1～4級)を有する人

1次選考日 10月20日(日)

受験案内配布場所 埼玉県人事委員会事務局(さいたま市)、県内各地域振興センターなど。※郵送配布あり

受付期間 9月13日(金)まで

〒・☎ 埼玉県人事委員会事務局任用審査課 ☎ 048-822-8181

ご参加を

グラウンドゴルフ大会



☐ 9月21日(土)午前9時〜正午(受付/9時、開会式/9時30分) 小雨決行

場 大類グラウンド

対 一般(小学5年生以上)

持ち物 飲み物

定 先着80人

申・問 8月30日(金)までに教育委員会スポーツ振興課 ☎294-7101、FAX 294-7106に申込み(電話、ファクス可)

毛呂山特別支援学校

『学校公開』

県立毛呂山特別支援学校は、一人ひとりの発達のニーズに応じた教育を推進しています。本校の教育についてご理解を深めていただくため、次のとおり学校公開を開催します。

☐ 9月18日(水)午前9時30分〜正午

場 県立毛呂山特別支援学校

対 本校に入学・転学を考えている人、保護者、幼稚園・保育園関係者、本校の教育に関心のある人、そのほか学校教育関係者など

内容 学校概要説明、授業見学、学校見学、懇談など

問 埼玉県立毛呂山特別支援学校 ☎294-7200

町民卓球大会(シングルス)のお知らせ

☐ 9月15日(日)午前9時開会

場 総合公園体育館

種目 ①Aランク(上級者)

②Bランク(中級者) ③Cランク(初心者) 各男女の部

※参加種目は一人一種目。申込みランクは自己申告制。ただし、申込み人数によりランクを変更する場合があります。

試合方法 リーグ戦を行い上位グループ、下位グループに分けてのトーナメント方式11本5ゲームマッチ(使用球▽硬式40ミリ白ボール)

料 500円(試合当日に集金) 当日欠場の場合も後日納入してください。

参加資格 町内在住・在勤・在学の人または毛呂山町卓球連盟に加盟の人(審判ができること)

申込方法 郵送の場合▽封筒に「卓球試合申込み」を表記し、用紙に住所・氏名・連絡先・種目・男女別を記入して左記へ

FAXの場合▽住所・氏名・連絡先・種目・男女別を記入して左記へ

※申込み用紙の形式は自由。チームなどの複数人で申し込む場合は実力順で記入してください。

申・問 8月10日(土)から9月10日(火)までに〒350-0465毛呂山町岩井西1-17-6松田 ☎295-0624へ申込み

日高市特別支援学校 『学校体験』

県立日高特別支援学校では、平成25年度に就学先を検討している肢体不自由のある子どもさんと保護者を対象に、学校体験を実施します。

☐ 10月24日(木)午前9時40分〜午後0時40分

場 埼玉県立日高特別支援学校(日高市高富59-1)

☐ 9月9日(月)までに毛呂山町教育センター ☎295-0622に申込み

場 埼玉県立日高特別支援学校 ☎042-985-4391

人権啓発フェスティバル

『ヒューマンフェスタ 2013さいたま』

☐ 8月23日(金)午前10時〜午後4時15分

場 大宮ソニックシティ

内容 ①内藤大助さん(タレント・ボクシング元世界チャンピオン)による人権講演会、②井上あずみさんとゆーゆーさん(歌手)によるふれあいコンサート、③県立浦和北高校演劇部による公演、④人権作文表彰・発表ほか

※入場無料、先着順(事前申込み不要)

場 埼玉県人事推進課 ☎048-830-2255

レインボー情報

『第23回小江戸川越 花火大会』

水中スターマイン、結婚や

出産のお祝いなどのメッセージを添えて花火を打ち上げるメッセージ花火など、約6千発が小江戸の夏を彩ります。

☐ 8月10日(土)午後7時〜(荒天の場合は、翌11日)同時刻に延期。11日(日)も同様開催できない場合は中止)

場 伊佐沼公園

問 川越駅観光案内所 ☎22-5556

応援しよう 東日本!! 『第13回坂戸よさこい』

前夜祭(坂戸駅南口のみ) ☐ 8月16日(金)午後5時30分〜8時30分

本祭 ☐ 8月17日(土)午前11時〜午後9時、18日(日)午前11時〜午後8時

※開催期間中、交通規制を実施しますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問 坂戸よさこい実行委員会

事務局(坂戸市商工務政課内) ☎283-1331 内線346-347) または、坂戸よさこいホームページ

(☎ http://www.sakadoyosakoi.com/) をご覧ください。

情報交換

『第6回コンパクトカメラ愛好会』写真展

写真展を次のとおり開催します。ぜひ、お越しください。

☎/9月13日(金)正午～午後5時・9月14日(土)午前9時～午後5時・9月15日(日)午前9時～午後4時ごろ 場/中央公民館展示室 ☎/☎294-6309小沢

毛呂病院 『盆踊り大会』

町民の皆さんのご参加を今

第9回 毛呂山町民ゴルフ大会

☎ 毛呂山町ゴルフ連盟会長 080 (3472) 7077 大場

町民の親睦と健康増進を図るため、以下によりゴルフ大会を開催します。
ふるってご参加ください。



開催日 **9月26日(木)**

場所 鶴ヶ島ゴルフ倶楽部 (滝ノ入 1724)

参加資格 毛呂山町在住・在勤者とその関係者 (男女・年齢不問)

費用 13,000円 (参加費 3,000円を含む)

募集人員 200人

競技方法 18ホール新ペリア方式

表彰 男子の部、女子の部別に表彰。

参加者全員に参加賞あり。

申込期間 申込用紙に必要事項を記入して、8月31日(土)までに〒350-0452 毛呂山町中央3-38-2 『毛呂山町ゴルフ連盟事務局』 柿沼隆昌あてにお申し込みください。

※電話では申し込みません。

※参加費は費用の一部に充てられます。

※申込用紙は大類グラウンド、総合公園体育館、両公民館、リンクスゴルフ場にあり。

年の夏もお待ちしています。
☎/8月8日(木)(雨天9日(金)午後6時から) 場/毛呂病院本部前「いこいの広場」
☎/毛呂病院本部事務所 ☎276-1496

『ソフトテニス初心者教室』参加者募集

誰でも簡単にできるソフトテニスの初心者教室を次の日程で開催します。

☎/9月1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、23日(祝)午前9時～午後0時30分 場/川角公園テニスコート ☎/小学3年生以上 料/無料 申・

『第5回彫刻教室』参加者募集

古新聞を使って張り子のお面を作るワークショップ。小学生から大人まで、だれでも参加できます。芸術大出身の先生が指導します。お友だちを誘って楽しいお面を作ろう。

☎/8月24日(土)午後1時～4時 場/三和タジマ(株)埼玉工場(川角484) 料/500円(材料・工具代) 申・

☎/8月31日(金)までに毛呂山町ソフトテニス連盟会長 ☎294-7931 岩崎まで申込み

☎/8月20日(火)までに三和タジマ(株) ☎03-5954-5866 イコダ・☎294-1221 小林・FAX 03-3985-5146・E stajima02@sip.sanwa.co.jp に申込み

『カラオケサークルはなみずき』会員募集

皆さんのご参加をお待ちしています。見学もできます。

☎/毎月第2・4水曜日午前10時～正午 場/東公民館 会費/月額1800円(入会金500円) ☎/☎286-2626 渡辺

受賞おめでとうございます

(国表彰)

★春の叙勲

瑞宝中綬章 (防衛功労) 新井 宏さん (双葉団地)
瑞宝双光章 (教育功労) 宮下清身さん (阿諏訪)

★危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章 (防衛功労) 尾崎栄一さん (日生団地)
瑞宝単光章 (防衛功労) 庄司 孝さん (双葉団地)
瑞宝単光章 (防衛功労) 松本清二さん (双葉団地)
瑞宝単光章 (防衛功労) 皆川道夫さん (第五団地)
瑞宝単光章 (警察功労) 富澤健彦さん (阿諏訪)

★高齢者叙勲

瑞宝単光章 (元法務事務官) 大貫房治さん (滝ノ入)

(県関係)

★交通事故防止活動に対する感謝状
西入間交通安全協会毛呂山支部

福社会館ホール耐震補強工事のお知らせ

ウイズもろやまでは、平成26年度、会館ホールの「耐震補強工事」に向けて、現在、耐震補強工事のための設計業務を進めています。それに伴い、会館ホールについて本年11月から利用を制限します。利用者の皆さんには、たいへんご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、「会議室」は利用ができます。詳しくはウイズもろやま(☎295-3111)へお問い合わせください。

生涯学習ボランティア人材バンク制度の登録者募集

「毛呂山町生涯学習ボランティア人材バンク制度」とは、講師や協力者として、あらかじめ登録した人を学習活動に取り組みようとしている地域の団体（学校、子ども会、自治会など）の要請に応じて紹介する制度です。

教育委員会では、くらしに役立つ様々な技能・技術、豊かな経験をお持ちの人や生涯学習ボランティアとして活動してみたいと考えている人を募集しています。

皆さんが習得してきた知識や技術・技能を、今度は地域づくりやまちづくりに役立ててみましょう！

☎ 教育委員会生涯学習課 学習支援係 ☎ 内線521

■登録者（団体）を募集しています

町内に在住し、ボランティア精神をふまえた社会参加に意欲のある人なら、どなたでも登録できます。

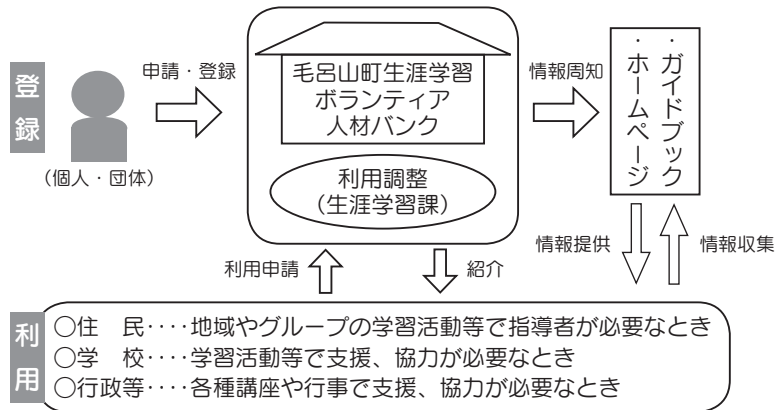
現在、芸術やスポーツ、芸能や趣味・娯楽などの分野がありますが、分野や資格は問いません。お気軽にご相談ください。

■「生涯学習ボランティア人材バンク」をご活用ください

自治会や子ども会、そのほか団体で実施する学習会やイベントの講師、支援・協力者を紹介します。

※詳しくは、お問い合わせください。

毛呂山町生涯学習ボランティア人材バンク制度イメージ図



10周年記念 サマーフェスティバルもろやま
～感動そして躍動～

☎ サマーフェスティバル実行委員会
(毛呂山町商工会内) ☎ (294) 1545

日にち
8月24日(土)

時 間
第一部 民謡・よさこい
午後4時～
第二部 花火大会
午後7時～9時

場 所
毛呂山総合公園

小雨決行
※荒天時は翌日に順延



ご協力
お願いします!

駐車場について

会場付近には、いっさい駐車場がありません。無料町内巡回バスを利用するか、埼玉医科大学病院の小田谷駐車場または役場の駐車場に駐車し、そこから無料バスを利用してください。

第43回 芸能発表会のお知らせ

☎ 中央公民館 ☎ (294) 1250

町内に在住在勤の皆さんが、日ごろの練習の成果を発表します（舞踊、楽器演奏、チアダンスなどバラエティーにとんだ出し物がいっぱいです）。ご家族おそろいで出かけてみませんか、ご来場をお待ちしています。



日にち 9月1日(日)
時 間 開場 / 9時30分
開演 / 10時15分(予定)
場 所 ウィズもろやまホール
入 場 無料

町内に屋外広告物を設置する事業者の皆さんへ

9月1日～10日は屋外広告物適正化旬間です

☎ 役場まちづくり整備課都市計画係 ☎ (295) 2112 内線 143

町内に設置する屋外広告物は、埼玉県屋外広告物条例により設置できる場所や種類、規模などが規制されています。

屋外広告物を設置する際は、小規模な自家広告物を除き、事前に許可を受けなければなりません。また、許可を受けた屋外広告物であってもデザインを変更するときや期限を更新しようとするときなどには「許可」、管理者を変更したり屋外広告物の掲出をやめるときなどには「届出」がそれぞれ必要です。

屋外広告物は、その種類と掲出方法によって、詳細な許可基準が設けられています。掲出が認められない地域や物件もありますので、事前にご相談ください。

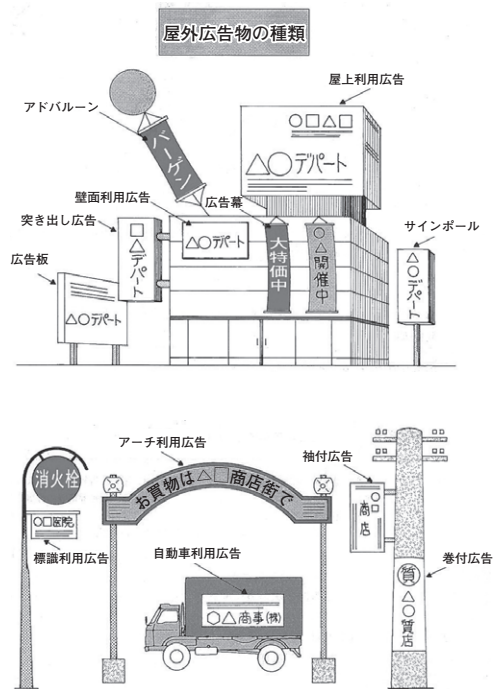
屋外広告物の強度や安全性について、定期的な点検、補修そのほか必要な管理を怠ると、落下や倒壊などの恐れがありたいへん危険です。適正に管理し、事故の防止に努めてください。

■平成23年10月1日から屋外広告物の許可基準が一部改正されました。

【主な改正点】

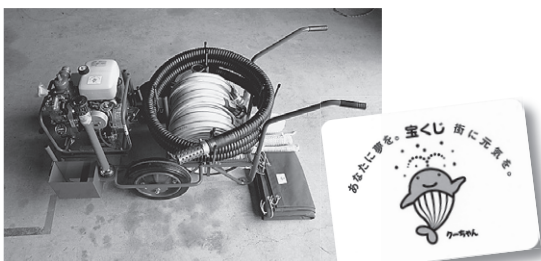
- ①「突き出し広告の上端の高さ」を抑制し、商業地域などにおける壁面利用広告の表示面積を緩和しました。
- ②「建物敷地内・外の区分」「道路からの距離区分」「広告物の相互間距離制限」を廃止し、表示面積や高さの基準を簡素化・統一化しました。
- ③用途地域の定められていない区域では、自然景観・田園景観との調和を図るため彩度による色彩規制を設けました。

詳しくは、県ホームページ (HP <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/okugai-top/>) でご確認ください。



第一団地婦人消防隊に 軽可搬消防ポンプを配備！

西入間広域消防組合では、平成25年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成金）を活用し、取り扱いが容易で初期消火に対応できる軽可搬消防ポンプ一式を第一団地婦人消防隊に整備しました。



☎ 西入間広域消防組合総務課 ☎ (295) 0119

電子申請・届出サービスをご利用ください

埼玉県と県内市町村では、電子申請・届出サービスを共同利用しています。詳しくは、ホームページをご覧ください (HP <http://www.town.moroyama.saitama.jp/>)。

◎電子申請にはこんなメリットがあります

- ・自宅や職場のパソコンから申請ができます。
- ・夜間、休日でも申請ができます。
- ・携帯電話で申請できる手続きもあります。
- ・通信は暗号化されますのでセキュリティも安心です。

◎毛呂山町ではこんな手続きができます

国民健康保険加入・喪失届、印鑑登録証明書交付申請、戸籍の附票の写し請求、住民票記載事項証明請求、住民票の写し請求、給与支払報告・特別徴収に係る給与所得者異動届、軽自動車税申告（報告）書兼標識交付申請書、軽自動車税廃車申告書兼標識返納書、そのほか各種イベント申込みなど

◎電子申請・届出サービスのアクセス

HP <https://denshi.pref.saitama.lg.jp/>

☎ 役場情報推進室 ☎ (295) 2112 内線 221

子ども広場

このコーナーは、子どもが参加のできるイベントなどの情報のほか、子育て支援に関する情報や健康診断など、子どもに関する様々な事柄を掲載するコーナーです。

ゆずの里保育園の病後児保育がスタートしました！

お子さんが病気などにかかった後の回復期に、保護者の就労、疾病、出産などの理由により家庭で保育することが困難な場合、専用の保育室で看護師付き添いのもと、一時的にお子さんをお預かりして保育を行います。

利用方法	
①事前に役場子ども課に「病後児保育利用登録申請書」を提出。②利用する際、「光の家療育センター（☎(276)1357）」へ連絡し利用可能かどうかの判定を受けてから、予約する。③利用当日にゆずの里保育園に利用書を提出。	日時/月～金曜日8:30～17:00 休日/土・日・祝日および12月29日～1月3日 料/1日2,000円 定/1日4人まで(予約順) 問/役場子ども課保育係☎(295)2112内線137

一時預かり保育

保護者の就労、疾病、事故、出産などの理由で一時的に家庭で保育することが困難な場合や、育児に伴う心理・肉体的負担を解消するため、保育所でお子さんを一時的にお預かりして保育を行います。

名称	場所	電話番号	名称	場所	電話番号
ゆずの里保育園	平山1-47-3	(294)6066	毛呂山みどり保育園	葛貫799-12	(294)1115
養光保育園	毛呂本郷687	(276)1473	ながせ保育園	前久保497	(294)2515
あけぼの幼児園	長瀬398-5	(295)2340	ときわぎ保育園	平山2-11-1	(294)4992

図書館 ☎(295)1015 8月の休館日：5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)

名称	日程	時間	対象	内容
子ども映画会 「ホーム・オン・ザ・レンジ」	8月10日(土)	14:00～15:30		内容/たくさんの動物がにぎやかに暮らす農場に、ある日ピンチが！ ゆかいな動物たちが大騒動をくりひろげます。 場/視聴覚室 定/先着50人
おはなし会	8月24日(土)	14:00～14:30	3歳児から小学生まで	内容/おはなし、絵本の読み聞かせ、紙芝居など 場/視聴覚室 ※小さなお子さんは、保護者同伴でご参加ください。
おはなしポッケ	8月13日(火) 27日(火)	11:00～11:30	0歳から3歳くらいのお小さい子のためのおはなし会	内容/わらべうた、手あそび、絵本の読み聞かせなど 場/1階おはなしコーナー ※小さなお子さんのためのおはなし会です。

児童館 ☎(295)4111 8月の休館日：毎週日・月曜日

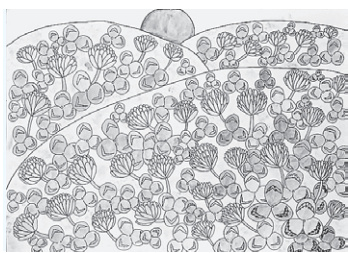
名称	日程	時間	対象	内容
びよんびよん広場	8月7日(水) 21日(水) 28日(水)	10:30～11:30	2歳前後の幼児と保護者	内容/体操・工作・体育あそびなど(申込み不要) 持ち物/親子とも上履き
科学あそび	8月23日(金)	10:00～11:00	小学生	内容/炭酸ロケット、巨大空気砲、溢れ出す泡ほか 定/先着15人 申/8月10日(土)から児童館で受付(電話可)
父親クラブ	9月7日(土)	10:00～11:00	幼児、小学生とお父さん(家族で参加も大歓迎)	内容/カレーソースやきそばでおいしい実験!?ほか 料/1人150円 持ち物/上履き、飲み物、箸、タッパー、フライ返し 申/9月5日(木)までに参加費を添えて児童館で随時受付
幼児クラブ	火曜コース 9月24日(火)～11月5日(火) 木曜コース 9月26日(木)～11月7日(木)	10:00～11:30	3、4歳児と母親(H21.4.2～H23.4.1生) ※対象外の人はご相談ください。	あそびを中心としたなかで、子どもの社会性とお母さんとのふれあいを深め、親同士の交流を目的とした教室です。 内容/体操、工作、運動会、遠足ほか 定/先着15組。なるべく全日程参加できる人 申/9月5日(木)午前9時から児童館で受付(電話可) ※ご家族が申し込んでください。

保健センター ☎(294)5511

名称	日程	対象	内容
4か月児健診	9月2日(月)	H25.4生	場/保健センター ※対象者には個別に通知します。
10か月児健診	9月3日(火)	H24.10生	
1歳6か月児健診	9月30日(月)	H24.2生	
3歳児健診	9月25日(水)	H22.3生	
2歳児歯科健診	9月12日(木)	H23.2生 H23.3生	歯と栄養のお話、歯科検診、歯みがき指導、フッ素塗布(希望者のみ)、栄養指導相談(希望者)



1年 野原 真太くん



「朝日に照らされる七色ヶ丘」



2年 村田 栄治くん



「ぼうしくん」



6年 小沢 芽生さん



「とぶしんかんせん」
(マグネットマスコット)



保健センターだより

検 診

乳がん・子宮頸がん検診 (受診回数/2年度に1回)

- 日 9月9日 (月) 午前・午後
- 対 乳がん/40歳以上、子宮頸がん/20歳以上
- 料 乳がん/600円、子宮頸がん/500円
クーポン券がある人は無料です。
- 定 先着120人
- 申 8月7日 (水) から保健センターで受付
※生活保護世帯の人は無料になりますので、申込み時にお申し出ください。なお、当日、印鑑と受給者証をご持参ください。
※また、お子さんの保育もあります。

大腸がん検診 (受診回数/1年に1回)

- 受付期間 8月20日 (火) ~9月10日 (火)
- 回収期間 8月23日 (金) ~9月18日 (水)
※土・日・祝は除く
- 対 40歳以上
- 料 500円
- 申 不要。保健センターの窓口で、直接検査容器をお渡しします。上記受付期間内に、直接お越しください。2回排便後、保健センターに提出していただきます。
※生活保護世帯の人は無料になりますので、来所時にお申し出ください。なお、印鑑と受給者証をご持参ください。

保健センター ☎ (294) 5511

タバコは老化促進のためのサプリメント?! ~禁煙教室のお知らせ~

たばこは呼吸器や心臓、脳血管疾患などと関係が深いことはよく知られています。実はそれらの疾患以外にも顔や髪、歯など外見にも影響があることをご存知ですか? 22歳の双子が40歳まで喫煙した場合、しなかった場合のシミュレーションでは、喫煙した場合は喫煙しなかった場合に比べなんと10歳以上も老化が進むそうです。

禁煙教室当日は講演のほかに、肺活量測定や一酸化炭素をどのくらい体内に取り込んでいるかを測定できます。これを機会にご自分の身体について一緒に見つめ直してみませんか? 皆様のご参加をお待ちしています。

内 容 喫煙の危険性、最新の治療方法ほか

講 師 田中政彦医師 (関越病院病院長)

持ち物 筆記用具

日 9月28日 (土) 15:00 ~ 17:00

料 無料

定 30人

申 8月5日 (月) から保健センターで受付 (電話可)

■9月の在宅当番医 (午前9時~正午)

日にち	医療機関名	専科	住所	電話
9/16 (祝)	もろやま眼科	眼科	岩井西 2-11-8	294-4113
9/23 (祝)	根岸内科医院	内科・小児科	下川原 171	295-3959

※埼玉医科大学病院 (毛呂本郷 38 ☎ 276-1465) は、救急部が日曜・祝日を問わず救急患者を受け入れています。

9月の行事カレンダー

毛呂山町役場 ☎ (295) 2112

日	月	火	水	木	金	土
1 ☾ ・10月分総合公園予約日 場総合公園 ・芸能発表会 場ウイズもろやま →P20	2 ☾☽☽ ・園庭開放 場旭台保育園→P15	3 ・おおきなポケ 場図書館	4 ・入間西障害者相談支援 センター出張相談 場役場会議室 ・びよんびよん広場 場児童館	5 ・体育施設10月分調整会議 場総合公園	6 ・健康づくり教室 場中央公民館→P15	7 ・父親クラブ 場児童館→P22
8 ☾	9 ☾☽☽ ・おはなしポケ 場図書館	10 ・おはなしポケ 場図書館	11 ・高齢運転者再教育 場おごせ自動車学校 ・びよんびよん広場 場児童館	12 ・子育てサロン 場東公民館	13 ・健康づくり教室 場中央公民館→P15	14 ・子ども映画会 場図書館 ・トレーニング機器説明会 場総合公園
15 ☾ ・臨時休館 場ウイズもろやま →P14 ・新しき村創立記念祭 場新しき村	16 敬老の日 ☾ ・臨時休館 場ウイズもろやま →P14	17 ☾☽ ・健康づくり教室 場大類館→P15	18 ・びよんびよん広場 場児童館	19	20 ・健康づくり教室 場中央公民館→P15	21 ・グラウンドゴルフ大会 場大類グラウンド→P18
22 ☾	23 秋分の日 ☾	24 ☾☽ ・健康づくり教室 場大類館→P15 ・幼児クラブ火曜コース 場児童館→P22	25 ・高齢運転者再教育 場おごせ自動車学校	26 ・子育てサロン 場ウイズもろやま ・幼児クラブ木曜コース 場児童館→P22	27 ・健康づくり教室 場中央公民館→P15	28 ・おはなし会 場図書館 ・町立小学校運動会 場町立各小学校
29 ☾ ・休日納税相談・納入窓口 場役場→P14	30 ☾☽☽					

施設のお休みマーク 場=場所
 ☾図書館 ☽歴史民俗資料館 ☽児童館 ☽町内体育施設(総合公園体育館・グラウンド、大類グラウンド・ソフトボールパーク、川角公園、西戸・川角・岩井・目白台各グラウンド、弓道場)

9月の相談コーナー

法律相談

■弁護士(要予約)
9月10日(火)、24日(火) 13:30～16:00

■行政書士
9月18日(水) 10:00～15:00

場 所 役場会議室
内 容 土地家屋のトラブル、交通事故、金銭貸借や補償、相続問題など
問合せ 総務課自治振興係 ☎内線 313

人権・行政相談

日 時 9月12日(木) 13:30～16:00
場 所 役場会議室
内 容 人権問題、行政に関する苦情など
問合せ 総務課自治振興係 ☎内線 313

健康相談

■成人健康相談(心と体の相談)
9月24日(火) 9:00～12:00
場 所 保健センター
9月26日(木) 9:30～11:30
場 所 役場ホール

■電話相談
月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00
問合せ 保健センター ☎(294) 5511

心配ごと相談

日 時 毎週水曜日 10:00～12:00
場 所 ウイズもろやま
内 容 生活上の悩み、困りごとなど
問合せ 社会福祉協議会 ☎(295) 3111

教育相談

日 時 月～金 10:00～16:30
場 所 教育センター
内 容 不登校、いじめ、しつけなど
電話相談番号 ☎(295) 2525

消費生活相談

産業振興課では、消費生活全般に関する相談・情報提供を行っています。
毎週火曜日 10:00～15:00 は、消費生活コンサルタントが相談を受け付けます。
問合せ 産業振興課商工観光係 ☎内線 175

入間西障害者支援センター出張相談

日 時 9月4日(水) 10:00～12:00
場 所 役場相談室
対 象 障害(身体・知的・精神)のある人やその家族
内 容 生活上の諸問題など
問合せ 福祉課障害福祉係 ☎内線 116・117 FAX(295) 2126



役場からのお知らせ

■毎週水曜日は、税務課・住民課・子ども課・高齢者支援課・福祉課・水道課で午後7時まで窓口業務を行っています。

■広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。

■ウェブサイト用 QRコード



■税金・保険料は納期限内に忘れずに納めましょう。

8月の納期（9月2日納期限）

町県民税	2期
国民健康保険税	2期
介護保険料	3期
後期高齢者医療保険料	2期

人の動き

人口	35,717人（-29人）
男	17,808人（-6人）
女	17,909人（-23人）
世帯	15,707戸（+13戸）

※平成25年7月1日現在（カッコ）内は前月比

図書館

今月のオススメの一冊！

『生きるぼくら』

原田 マハ／著 竹間書店／出版

「引きこもりの24歳男子、麻生人生は、母の家出によって一人きりになってしまう。途方にくれて訪ねた祖母の家で、人生は認知症の祖母の「田んぼ」を手伝うことを決心する。それは耕さない、肥料を施さない、農薬を使わない昔の米作りだった。青年の心の成長を描く感動の一冊。」



編集後記

今月は、特集記事を作成するために、たくさんの人にお話を聞かせていただきました。話しくいことでも、快くお話をいただいた皆さんに感謝しつつも、広報を作成する者として、記憶を残していく責任を痛感しました。（1）

今回は、ぼくからみんなにお知らせがあるよ。ゴルフ用のヘッドカバーが発売されたんだ！ぜひ、ゴルフのお供にぼくを連れて行ってね。お父さんへのプレゼントにもぴったりだよ。



もろ丸くんと びっしょ！



お便りコーナー

satamajp

hisyo@town.moroyama.

049-2619-0771

2112内線3622

課広報広聴係 ☎049-2619-0771

〒350-0493毛呂山町中

央2-1毛呂山町役場秘書広報

あて先

するよ。お便りお待ちしております！

送・メール・ファクスで送ってね。「もろ丸くんといっしょ」と明記してね。お便りにはぼくが広報でお返事するよ。お便りお待ちしております！

想を募集しているよ！

りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

のほかに、ぼくへのお便りや質問、広報への感想を募集しているよ！

山根荘趣味の会等定例行事

8月の休館日	3日 4日 10日 11日 17日 18日 24日 25日 31日	三味線・民謡の会	1日 15日
ペタンク	19日	手芸の会	14日 28日
声を出す会	7日 21日	カラオケ会	5日 19日 (厚年カラオケ) 23日
謡寿会	お休み	同好会	14日 28日
民謡同好会	12日 26日	吟友会	14日 28日
俳句の会	9日 23日 【季語 盆踊(ぼんおどり)、 残暑(ざんしょ)】	書道の会	14日 28日
囲碁・将棋の会	2日 7日 9日 14日 16日 21日 23日 28日	舞わかば会	14日 28日
お茶の会	2日 16日	FDカトリア	9日 23日
薔会(お花)	お休み	健康体操3B体操	5日
ダンス同好会	2日 16日	楓の会	お休み
さんれい会(大正琴)	2日 16日	押し花の会	5日 12日
		桜扇の会	9日 26日
		PCクラブ	5日 19日
		光華の会	7日 21日

※行事日程などについては、都合により変更する場合があります。
※上記の趣味の会に入会を希望する人は、下記までご連絡ください。

山根荘は、レインボー協議会（毛呂山町、川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、越生町）内の居住者で60歳以上の人は、無料でご利用になれます。

☎ 老人福祉センター山根荘 ☎ (294) 5545

ほしいもの！ あげたいもの！

●ゆずりたい物

・うさぎ（ライオンドワーフ）（無料）・剣道具一式（中学生女子用）（胴・小手・面・竹刀ケース）（中古・無料）

●ゆずってほしい物

・レーザーディスク再生プレーヤー（30cm）（中古・相談）・おんぶひも・だっこひも・バンポ（相談）・そうじ機（中古・相談）

紹介したい品物がありましたら、お気軽にお申し込みください。また、交渉が成立した場合には、必ずご連絡ください。

掲載期間 3か月

☎ 役場産業振興課商工観光係 ☎ 内線 175



花蓮(総合公園プール跡地)

一昨年より、大谷木の総合公園プール跡地を利用した花蓮の試験栽培がスタートしました。今年是一般公開も始まり、既に足を運ばれた人も多いと思います。蓮は早朝に美しく咲きますが、正午には花を閉じてしまいます。

この写真は午前9時ごろ撮影したものです。初夏の眩い日差しを受け、花弁は美しく色を透かしています。公開は8月中旬まで続きます。ぜひ足をお運びください。

(毛呂山町秘書広報課撮影)

(平成 25 年 7 月 2 日 撮影)



応募方法

このコーナーは、写真をおとして毛呂山町の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物や動物、花などの写真でも結構です。あなたの好きな毛呂山町の風景を写真で紹介してください。町内在住・在勤の人であれば応募可能です。また、撮影した写真への思いや撮影エピソードなどを1500字程度でまとめ、郵送またはメールで併せて応募ください(写真返却不可)。なお、応募が多かった場合は、掲載基準に準じた審査をしたうえで掲載写真を決定させていただきます。

応募先

〒350-0493 毛呂山町中央2-1
毛呂山町役場秘書広報課広報広聴係
☎049-295-2112 内線332
✉ hisyo@town.moroyama.saitama.jp

後然歳時記

流れ星



夜空を縫うように走る流れ星。3回願いごとを唱えると叶うとも言われ、見つけるとなんだか幸せな気持ちにもなります。

流れ星は今の季節が最も観測しやすい時期だと言われています。毎年決まった時期に訪れる流星群(定常群と言います)のうち、ペルセウス流星群が7月下旬から8月下旬にやってきます。三大流星群に数えられ、毎年8月23日前後にやってくる最大期には、一時間あたり50個以上も観測できることもあるそうです。8月はほかにもやぎ座、みずがめ座などの流星群も観られ、また夜更けの気温も心地良く、丁度お盆や夏休みにかさなるので家族そろっての観測もできます。夏の暑さを忘れ、無心で星空を見上げるのも一興ではないでしょうか。

三大流星群に数えられ、毎年8月23日前後にやってくる最大期には、一時間あたり50個以上も観測できることもあるそうです。8月はほかにもやぎ座、みずがめ座などの流星群も観られ、また夜更けの気温も心地良く、丁度お盆や夏休みにかさなるので家族そろっての観測もできます。夏の暑さを忘れ、無心で星空を見上げるのも一興ではないでしょうか。

わがやのアイドル



かわさき 川崎 ももな 桃菜ちゃん (10か月)

いつもニコニコな桃ちゃんにみんな癒されてるよ。最近ハイハイをして後追いもするようになったね。これからも、桃ちゃんのペースで成長してね!

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
申・問 役場秘書広報課☎内線332



植物油インキを使用しています。